

(臨床研究に関するお知らせ)

和歌山県立医科大学附属病院放射線科に、前立腺癌で通院歴のある患者さんへ

和歌山県立医科大学放射線医学講座では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご説明するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用させて頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

外照射併用高線量率組織内照射で治療された前立腺癌に関する後ろ向き観察研究

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学放射線医学講座 助教 稲垣 貴也

3. 研究の目的

和歌山県立医科大学では前立腺癌の患者さんに外照射併用高線量率組織内照射を行っていますが、適切な放射線の線量や副作用を起こしやすい患者さんなどわかっていないことがあります。過去のデータから、放射線の線量や背景因子の違いによって再発率や副作用の発症率に違いがないかを調べるのが目的です。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

前立腺癌の患者さんで、平成12年1月1日から平成30年12月31日までの期間中に、前立腺癌の高線量率組織内照射(小線源治療やラルスと説明されているかもしれません)を受けた方

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、治療方法、前立腺癌のステージ、腫瘍マーカー、再発の有無、副作用の有無や副作用の程度、併存疾患や内服薬に関する情報です。

(3) 方法

カルテの情報から、再発しているのかどうか、再発はいつ起こったのか、副作用が出たかどうか、副作用が出た時期、お亡くなりになっていないかを調べます。放射線治療の線量や治療前の前立腺癌のステージや腫瘍マーカー、前立腺の大きさ、併存疾患、内服薬を調べ、再発率や副作用の発生率に関連がないかを調べます。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させて頂きます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 資金源及び利益相反等について

企業などの資金供与はなく、利益相反はありません。

8. 問い合わせ先

和歌山市紀三井寺 811-1

和歌山県立医科大学放射線医学講座 担当医師 稲垣 貴也

TEL : 073-441-0605 FAX : 073-441-0605

E-mail : inagaki@wakayama-med.ac.jp